



No.33 名前 _____

今日のルール＆コツ

平均値＝合計÷個数。中央値＝小さい順に並べた中央の値。
最頻値＝最も多く現れる値。度数＝各階級に入る個数。

よくあるミス注意報

中央値は必ず小さい順に並べてから求める。
個数が偶数なら、中央2つの値の平均。階級の「未満」は含めない。

ステップ1 見る | 完全見本

例① 資料：2、5、3、2（冊）
平均値＝ $(2+5+3+2) \div 4 = 12 \div 4 = 3$ （冊）
小さい順：2、2、3、5
中央値＝ $(2+3) \div 2 = 2.5$ （冊）
最頻値＝2（冊）← 2が2回で最も多い

例② 度数分布表とヒストグラム
階級：資料を区切った区間。度数：その区間の人数。
「10分以上20分未満」は、10分を含み、20分は含まない。
ヒストグラムは、横が階級、縦が度数（階級の幅が同じ場合）。
長方形は、すき間をあけずに並べる。

ステップ2 なぞる

① 資料：1、3、3、5（冊）の平均値と最頻値
平均値＝ $(1+3+3+5) \div [\quad] = [\quad]$ 冊
最頻値＝ $[\quad]$ 冊

② 資料：7、2、4（冊）の中央値
小さい順： $[\quad]$ 、 $[\quad]$ 、 $[\quad]$
中央値＝ $[\quad]$ 冊

基礎だけ確認問題

- ① 平均値は「合計÷何」？ $[\quad]$
② 中央値を求める前に、どんな順にする？ $[\quad]$
③ 最も多く現れる値を何という？ $[\quad]$
④ 10分以上20分未満に、20分は入る？ $[\quad]$

ステップ3 自力演習 | 10問

①～⑥の資料は読んだ本の冊数。⑦～⑩は表・図で通学時間を読む。

① 2、4、6の平均値。

② 3、8、4の中央値。

③ 2、3、3、5の最頻値。

④ 1、2、3、6の平均値。

⑤ 1、2、5、8の中央値。

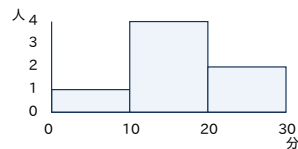
⑥ 1、2、2、4、4、4の最頻値。

⑦ 表の人数の合計は？

通学時間（分）	0以上10未満	10以上20未満	20以上30未満
度数（人）	2	5	3

⑧ ⑦の表で、通学時間20分が入る階級を答えよう。

⑨ 図で最も人数が多い階級は？



⑩ ⑨の図で、人数の合計は？

チャレンジ

資料：1、2、2、3、12（冊）。平均値と中央値を求めよう。
12冊のような大きい値の影響を受けやすいのは、どちらかも答えよう。



答え合わせのポイント

平均値・中央値・最頻値は、それぞれ求め方が異なる。
表と図では、階級の範囲と人数を区別して読む。

ステップ2 なぞる

- ① [4]、[3]、[3]
平均値 $= 12 \div 4 = 3$ (冊)
最頻値 $= 3$ (冊)
② [2]、[4]、[7]、[4]
小さい順：2、4、7。中央は4 (冊)。

基礎だけ確認問題

- ① 個数
② 小さい順
③ 最頻値
④ 入らない。20分は「20分以上30分未満」に入る。
「以上」はその値を含み、「未満」はその値を含まない。

チャレンジ 大きい値の影響

平均値 $= (1+2+2+3+12) \div 5$
 $= 20 \div 5 = 4$ (冊)
中央値 $=$ 小さい順の3番目 $= 2$ (冊)
大きい値の影響を受けやすいのは平均値。
平均値はすべての値を合計して求めるため、大きい値に引かれやすい。

自力① 平均値

$$(2+4+6) \div 3 \\ = 12 \div 3 = 4 \text{ (冊)}$$

自力③ 最頻値

3が2回で最も多い。
答え：3冊。

自力⑤ 中央値

中央2つは2と5。
 $(2+5) \div 2 = 3.5$ (冊)

自力⑦ 人数の合計

$$2+5+3=10 \text{ (人)}$$

自力⑨ 最も多い階級

最も高い長方形は度数4。
10分以上20分未満。

自力② 中央値

小さい順：3、4、8
中央は4。答え：4冊。

自力④ 平均値

$$(1+2+3+6) \div 4 \\ = 12 \div 4 = 3 \text{ (冊)}$$

自力⑥ 最頻値

4が3回で最も多い。
答え：4冊。

自力⑧ 階級

20分以上30分未満。
20分は「20分未満」に含まれない。

自力⑩ 人数の合計

$$1+4+2=7 \text{ (人)}$$